

ケース理解と方針の 組み立て

ーケースフォーミュレーションを学ぶ

ケースフォーミュレーション：問題を説明し、問題の本質を理解するための仮説

臨床家は、どんな相談者でも、訴えを聞いた上で、心理学的な問題を理解しようと務め、相談者が困っていることの理解を伝え、協働して問題に取り組んでいきます。このワークショップでは、相談者の問題は何か、どうして問題が生じたのか、問題の由来と成り立ちを点検し、相談者の心の運用に変化を生み出す鍵（変数）を導き出す手続きを学びます。問題が起きる原理を見出すことができれば、相談者の危険を予見することができます。また、変化を生み出す仕組みを形にし（定式）、戦略をもつて関わるできるようになります。実践的なワークショップによる研修です。ケースをもって参加しましょう。準備はいりません。関心のあるケースのメモで OK です。

IADP 研修理事 中村有希

日 程：2019 年 10 月 5 日（土）
17:15～20:15

講 師：小谷 英文 Ph.D.

（IADP 理事長・国際基督教大学名誉教授）

参加費：一般専門家 5,500 円（税込）

IADP 会員・大学院生 4,400 円（税込）

対 象：心の教育・治療に関わる専門家、力動的心理療法／精神療法・精神分析・力動論・集団力学に関心のある方、専門家を目指す大学院生、子どものことを理解したい教師、コンサルティのことをもっと理解したい企業コンサルタント、アスリートのメンタルコーチも歓迎します。

会 場：パス心理教育研究所（Pinney's Hall）

〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9

※申込方法は裏面をご覧ください。

国際力動的
心理療法学会
主催

第 25 回
記念大会
プレワークショップ

2019 年 11 月に東京で開催される本学会のプレワークショップです。本学会に関心をお持ちの方、力動的心理療法に関心のある方、お気軽にご参加ください。

第 25 回 IADP
記念大会のご案内

大会会長：

中村有希

（PAS 心理教育研究所）

日時：

2019 年

11/2(Sat)-4(Mon)

大会テーマ：

「変化の時」

ー現代人はいつ大人になるのかー

会場：

東京医科大学

新宿キャンパス

詳細は学会 HP へ

<http://25annual.iadp.info>

国際力動的心理療法学会（IADP）

学会ホームページ: <http://www.iadp.info/>

IADP International
Association of
Dynamic
Psychotherapy

国際力動的心理療法学会とは

International Association of Dynamic Psychotherapy (IADP)

1995 年、理事長の小谷英文博士（国際基督教大学名誉教授）と故 Edward L. Pinney 博士（元アメリカ精神分析医協会会長）によって設立されました。心理療法に関する本質的知識と技術の集積を力動的見地から行い、心理療法の人類にとっての意味を深め、その臨床効果性を高める研究を推進することを目的とした学会です。

申込方法

下記の必要事項をご記入の上、E-mail、FAX または郵送にて学会事務局までお申込下さい。

- ①お名前 ②ご年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 ⑥ご所属・職種 ⑦最終学歴
⑧会員／非会員 ⑨本プログラムをお知りになったきっかけ ⑩本プログラムへのご関心

* 申込用紙は IADP ホームページよりダウンロード出来ます。ぜひご利用下さい。

* 申込締切：2019 年 10 月 4 日（金）18 時まで

お申込・お問い合わせ先

〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9 パス心理教育所内 学会事務局

E-mail: iadp@iadp.info 電話・ファックス：03-6407-8201

会場までのアクセス

PAS 心理教育研究所

〒153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9

駒場東大前駅 西口より徒歩 5 分

